



# 園だより

文京区立第一幼稚園  
令和3年度9月号

URL <http://www.bunkyo-tky.ed.jp/dai1-kg/>

## 感染予防を継続しながら、子供たちの今を大切に

園長 田村 秀子

空の雲や虫の声に秋の訪れを感じる頃となりました。幼稚園では稲穂が実り始め、ブドウの実が色付き、赤トシボの姿も見られます。残念ながら、変異株による感染の拡大により、始業式は6日に延期となりました。感染予防を第一としながら、6日には子供たちが楽しみにしている園生活がスタートできるよう、準備を進めています。

間隔を空けて並んだり座ったりするための各保育室のマークも貼り直しました。遊具や用具もきれいに消毒し、すぐ出せるように用意しています。元々、第一幼稚園の建物は四方に窓があり、換気しやすい環境となっていますが、以前は開けていなかった教材室や遊戯室の窓も朝8時から全部開けて風を通し、常に風が通る環境にしています。子供たちには、間隔を空けて並び、静かに待つことや、手洗い、うがいの仕方、マスクをつけて遊ぶことやマスクが濡れたら予備のマスクにとりかえることなどを思い出せるように、繰り返し伝えていきます。教職員も一緒に行い、子供も大人も皆で気を付けて生活することで、感染を予防していきたいと思えます。

また日々の健康観察により、お子さんの体調が悪そうな時は、すぐに保護者の方と連絡をとっていきます。体調が悪い時は無理せず家で体を休めることが一番です。今まで保護者の方もご家族や知人に濃厚接触者の可能性がある時は、園にお電話くださり、「園に迷惑がかかるといけないので」とお子さんを休ませてくださっていました。今後も心配な時はすぐ園にご連絡いただき、感染を防ぐ対応をとっていききたいと思えます。気を付けていても感染してしまうことがあるかもしれません。園で感染者が出た場合は、教育委員会や保健所と連絡を取り、保育を中止して対応することになりますので、ご協力をお願いいたします。

様々なことを想定しながらの2学期となりますが、子供たちが笑顔で元気いっぱいにご過ごせるよう、子供たちの今を大切に、日々の保育を充実させていききたいと思えます。

オリンピックに続いて、パラリンピックも始まりました。様々な困難を乗り越えて、明るく力強く競技に取り組む選手の姿は、大きな感動と勇気を与えてくれます。園内にパラリンピック選手の写真を掲示すると、「知ってる。いつも家で見てるよ」「こうやって泳いでいたよ」などと子供たちが興味をもって話し始めました。そこで2階の会議室でテレビが見られるようにアンテナをつなぎ、預かり保育の子供たちと一緒に観戦しました。子供たちは選手が伴走ガイドの方と一緒に走る姿を一生懸命拍手で応援したり、日本の選手が2位、3位となった時は大喜びしたりしていました。また車椅子を自在に扱う姿に「すごいねー」と感心したり、思わず「頑張れー」と立ち上がって応援したりしていました。様々な障がいをもった方々が力一杯頑張る姿を見て、素直に感動し、心から応援し、心を寄せて一緒に喜ぶ姿は、清々しく、心の柔らかい子供たちに育っていることを嬉しく思いました。ご家庭で観戦した子供たちも多いことでしょう。子供たちの感動をしっかりと受け止め、あきらめない心や最後まで頑張る気持ちを自分たちの遊びや生活に活かせるよう、励ましていききたいと思えます。

園生活の中でも、子供たちは様々な人と関わり、様々な見方や考え方に触れていきます。コロナ禍でも様々な活動を工夫し、心を動かす出会いがたくさんあるように、そして様々な出会いを喜び、心を通わせ、思いや考えを伝え合い、共生社会を実現していく子供に育つよう、皆で力を合わせていききたいと思えます。